

固体物性を理解するための統計物理入門 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年3月16日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	ii	6行目	…, SI 単位系 (System International d'Unités) を…	…, SI 単位系 (Système International d'Unités) を…
1	11	図 1.7(b)	(図右上) $V_{KR} = \frac{4\pi}{3} K^3$	$V_{KP} = \frac{4\pi}{3} K^3$
1	24	式 (2.1)	$\dots = 1 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \dots = 2.71828 \dots$	$\dots = 1 + \frac{1}{1!} + \frac{1}{2!} + \dots = 2.71828 \dots$
1,2	24	下から 7行目	◆微分の乗算への変換 これから何度も微分を行うが、一般に微分は、…	◆微分演算の乗算への変換 これから何度も微分演算を行うが、一般に微分演算は、…
1,2	24	下から 5行目	変数 x についての微分は、…	変数 x についての導関数は、…
1,2	24	下から 3行目	式 (2.2) を見ると、微分が乗算に変換され、…	式 (2.2) を見ると、微分演算が乗算に変換され、…
1,2	25	Point 3行目	微分を乗算に簡単化	微分演算を乗算に簡単化
1	50	下から 6行目	…, 黒体で囲まれた空洞…	…, 放射を通さない壁で囲まれた空洞…
1	50	下から 4行目	…, この光と黒体が…	…, この光と空洞の壁が…
1	50	下から 3行目	…, 黒体でできた壁に…	…, 空洞の壁に…
1	50	最下行	…光の放射は、黒体放射…	…光の放射は、黒体からの放射とみなされ、黒体放射…
1	51	図 3.4	(図中と図のキャプション) 黒体	放射を通さない壁
1	51	11行目	黒体で囲まれた空洞内に…	放射を通さない壁で囲まれた空洞内に…
1	53	7行目	…, 半径 a の…	…, 半径 n の…

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2,3	55	5行目	…電流 $I=10.0\text{mA}$ が流れている…	…電流 $I=10.0\text{A}$ が流れている…
1	64	式 (3.88)	$=3N\left[\frac{1}{\exp(\hbar\omega/k_{\text{B}}T)-1}+\frac{1}{2}\right]\hbar\omega_0$	$=3N\left[\frac{1}{\exp(\hbar\omega_0/k_{\text{B}}T)-1}+\frac{1}{2}\right]\hbar\omega_0$
1	69	式 (4.8)	$\frac{P(E_1)}{P(E_2)}=\dots$	$\frac{P(E_1, N_1)}{P(E_2, N_2)}=\dots$
1	78	式 (4.46)	$C_e \simeq k_{\text{B}}D_e(E_{\text{F}}) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{x^2 e^x}{(e^x + 1)^2} dx$	$C_e \simeq k_{\text{B}}^2 D_e(E_{\text{F}})T \int_{-\infty}^{\infty} \frac{x^2 e^x}{(e^x + 1)^2} dx$
1	80	2行目	$\dots = \frac{\lambda}{1 - \lambda \exp(-E/k_{\text{B}}T)} = \frac{\lambda}{1 - \lambda \exp(-E/\tau)}$	$\dots = \frac{\lambda \exp(-E/k_{\text{B}}T)}{1 - \lambda \exp(-E/k_{\text{B}}T)} = \frac{\lambda \exp(-E/\tau)}{1 - \lambda \exp(-E/\tau)}$
1	81	下から 2行目	$N_{\text{ex}} = \int_0^{\infty} D(E) f_{\text{BE}}(0) dE$	$N_{\text{ex}} = \int_0^{\infty} D(E) f_{\text{BE}}(E) dE$
1	82	式 (4.59)	$= 1.306\sqrt{\pi}$	$= 1.306\sqrt{\pi} \tau^{\frac{3}{2}}$
1,2	92	9行目	結合に寄与していない IV 族元素の…	結合に寄与していない IV 族原子の…
1,2	93	例題 5.4 1行目	…, アクセプターがイオン化している確率 $f(A^+)$ と, …	…, アクセプターがイオン化している確率 $f(A^-)$ と, …
1	93	例題 5.4 解 8行目	そして, アクセプターの…	そして, IV 族原子の…
2のみ	93	例題 5.4 解 8行目	そして, IV 族元素の…	そして, IV 族原子の…
1	102	図 5.18	右のように修正	

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	110	下から 7行目	系 S が立方体の中に存在しているとき、立方体の一つの面の面積を S , 圧力を…	系 S の圧力を…
1,2	146	13行目	… μ についての微分は…	… μ についての導関数は…
1,2	146	16行目	… x についての微分は…	… x についての導関数は…
1,2	147	13行目	… x についての微分は…	… x についての導関数は…
1	153	最下行	$\psi(x) = \psi_0 \exp(iK_x x) \exp(-i\omega t)$	$\psi(x) = \psi_0 \exp(iK_x x)$
1	155	式 (16)	$\dots = \frac{3}{2} N \frac{\partial \ln CU}{\partial U} = \dots$	$\dots = \frac{3}{2} N \frac{\partial \ln U}{\partial U} = \dots$
1	158	式 (42)	$= 2 \int_0^\infty \frac{1}{\exp(\pi \hbar c n / \tau L) - 1} dn$	$= 2 \int_0^\infty \frac{\pi \hbar c n / L}{\exp(\pi \hbar c n / \tau L) - 1} dn$
1	159	式 (52)	$\dots = \frac{3L^3 k_B^4 T^4}{2\pi^2 \hbar^3 v^3} \left(\frac{\theta}{T} \right)^3 = \dots$	$\dots = \frac{L^3 k_B^4 T^4}{2\pi^2 \hbar^3 v^3} \left(\frac{\theta}{T} \right)^3 = \dots$
1,2	172	1行目	… x についての f_0 の微分は…	… x についての f_0 の導関数は…
1,2	173	A.1 1行目	…、関数 h の微小変化 dh は、…	…、関数 h の微分 dh は、…
1,2	173	A.1 3~4行目	ここで、 $\partial h / \partial x$ は関数 h の変数 x についての微分、 dx は変数 x の微小変化、 $\partial h / \partial y$ は関数 h の変数 y についての微分、 dy は変数 y の微小変化である。	ここで、 $\partial h / \partial x$ は関数 h の変数 x についての偏導関数、 dx は変数 x の微分、 $\partial h / \partial y$ は関数 h の変数 y についての偏導関数、 dy は変数 y の微分である。